

2010.5.24 「国民の敵！鳩山内閣を倒せ！解散を求める国民運動を！」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。普天間問題は、結局は元の本阿弥（もくあみ）で、辺野古周辺で代替施設を作るという日米合意がなされたと報道がありました。これを受けて、仲井間知事を鳩山総理が訪ね、事情を説明されたわけですが、これに納得できる人は誰もいないでしょう。沖縄県民が怒るのも当然です。ワシントンポストが、かつて鳩山総理のことをルーピー、つまり愚か者だという風に報じました。ルーピーとは以前にも申し上げましたように「輪っか」という意味ですから、まさに彼はクルクルパーなのです。普天間基地問題が、ぐるりと回って元の本阿弥、辺野古で落ち着くのなら、なぜ沖縄県民にあれだけデタラメを言い、ない夢を見させてきたのでしょうか。これはとてつもない詐欺行為です。その責任は、鳩山総理だけでなく、民主党全体が取らなければなりません。

普天間基地の問題だけでなく、さまざまな問題が日本国内に山積しています。特に口蹄疫により宮崎県は甚大な被害を受けていますが、口蹄疫は日本で発生する以前から、韓国等で発生していました。日本において口蹄疫が発生した場合に備え、対策本部の設置と全頭処分を該当地域で直ちに行うための準備、自衛隊の出動なども予め要請し、直ちに出勤できるようにしておくようにと自民党はこれまで何度も進言を行ってきました。しかし、民主党は一切これに耳を傾けることなくそのまま野放しにし、さらにこの問題の最高責任者である赤松農林水産大臣は連休中外遊を強行するなど無責任な対応をしてきました。その結果、初期対応が遅れこれだけの被害になったのです。しかし、その初期対応を誤ったのは宮崎県の責任だとして、宮崎県にその責任を転嫁しようとしています。全くもって不謹慎なことです。

辺野古の問題、口蹄疫の問題、その他の様々な景気の問題を含め、時の政権政党・政権与党は全責任を背負わなければなりません。誰のせい、彼のせい、といている場合ではないのです。出てきた問題に対して、全力でありとあらゆる事をして危険を除去する。これが何よりも政権政党の一番大事な姿勢なのです。民主党は、当事者意識が希薄で、「誰が悪かったのか」という責任者探しに終始しています。自分達が責任を取るという姿勢が一向に見えてこない事に、私はいらだちと情けない気持ちで、この事態を見つめています。このままでは国民の利益はますます損なわれてしまいます。鳩山内閣の存在自体が国民の敵で、国民の利益を逸することになっています。直ちにこれを退陣させなければなりません。

その一方で、これに喜んでいる勢力があります。例えば中国はどうでしょうか。鳩山内閣が二酸化炭素を25%削減するという国際公約を掲げられました。これが法律で制定されると、日本の企業は国内で操業できなくなり、中国を始めとする海外に生産を移転しなければなりません。日本が空洞化して、海外に事業拠点を置いて喜ぶのは、事業拠点を置いてもらえる中国等の地域です。また、普天間問題で日米関係が怪しくなってくると、その隙間を縫って、中国が次々と海軍を増強し、日本近海の日本の権益に狙いを定めてやってきて

います。さらに、今年の3月末、北朝鮮の魚雷により韓国の哨戒艦が爆破されました。日米関係が揺らぎ、北朝鮮にとって一番の抑止力になっている海兵隊の位置が定まっていない時に狙いを定めてあの事件が起きたのではないかと私はそのような気さえします。このように鳩山内閣の存在は国民の利益にならない、国民の敵だと言って差し支えないでしょう。

こうしたことを一日も早く止めるために、私達は次の参議院選挙で勝たなければなりません。ただそれだけでは済まないのです。去年の政権交代では、出鱈目なマニフェストによって間違った判断を国民がしてしまいました。これをもう一度やり直すために、国民に信を問わねばなりません。そのためには衆議院を解散させる以外方法はありません。鳩山政権を解散させるための国民運動を私が中心になって行っております。ぜひ多くの国民の皆様方にご参加を頂き、一日も早く鳩山内閣を倒し、民主党を退陣に追い込む。この運動をしていきたいと思っております。今後とも皆様方のご支援、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。